

# 組合支援ウォッチ

## 令和5年7月九州北部豪雨災害からの復興を目指して！ 「久留米絣大博覧会」を開催！！

去る7月26日（水）から8月1日（火）までの約一週間、福岡市中央区にある大丸福岡天神店本館8階催場において『「久留米絣大博覧会」～つくる、伝える、使う人たち～』を本会会員である久留米絣協同組合と久留米絣縞卸商協同組合で組織される久留米絣組合連合会が主催となり、開催いたしました。



福岡県の筑後地方を代表する伝統的工芸品「久留米絣」の魅力伝えようと、久留米絣に係わる織元や問屋（卸商）が産地をあげて取り組む大型イベントで、九州経済産業局や福岡県、久留米市、筑後市、八女市、広川町の織元や問屋が所在する3市1町を含めて後援を行うなど、盛大に実施されました。

本事業については昨年11月頃より企画を練り、7月末の実施に向けて関係者一同が一致団結して準備を進めて来ました。しかし、7月上旬の九州北部を襲った豪雨の影響で、関係者の一部が甚大な被害を受け、一時は出展が危ぶまれる事態に陥りました。ただ、その中でも被災した事業者も、それ以外の組合員も相互に連携し、「災害に負けない」というモチベーションと、「来場者の方一人ひとりに絣の魅力を伝えたい」という思いで、開催に辿り着くことが出来ました。

7月26日の初日以降多くの来場者が訪れ、各販売ブースは盛況となりました。産地組合の思いの大きさに比例して、来場者数は開催期間中に延べ約1万4千人にのぼり、多くの来場者に久留米絣の魅力を伝えることが出来ました。加えて売り上げも非常に好調で、災害復興から努力を続ける久留米絣の産地には非常に明るい話題となりました。



販売ブースの様子

販売ブースのみではなく、絣の「大博覧会」に相応しいコーナーが多く設置され、九州産業大学の学生たちに協力を得て、ワークショップコーナーも開設されました。歴史を伝えるパネルや実演ステージを設けるなど、正に広く知ることが出来るイベントとなりました。

また、今回のイベントではタレントの福岡県大牟田市出身の中島浩二氏とコラボレーションを行い、筑後地域総出で盛り上げることとなりました。



中島浩二氏とのコラボ

そして福岡県や会場の大丸と協力の上、災害義援金ボックスを設置し、被災した地域の早急な復旧支援を行いました。

今回のイベントが初の試みでしたが、組合で今後も同様の事業実施を検討しています。

是非、皆様も久留米絣の魅力に一度触れてみませんか？

復興に向けて歩み出した久留米絣の皆様にご支援をお願い致します！